

・受難節第二主日

泉のほとり

タリタ、クム

今月の詩編 「第三十三編」
主の御言葉は正しく
御業はすべて真実。



イエスさまと弟子たちはガリラヤ地方に来て、会堂で病人を癒す奇跡を行われました。その噂はガリラヤの隅々にまで広まつて、その方が来られたと知つたガリラヤの人々が群衆となつて集まつて來たのです。

そ の群衆の中やイロという人が来て「私の娘が死にそうです。イエスさまが手を置けば、娘は生きます。助けてください」と、しきりに願い出たのです。

イエスさまは「行きましょう」と、彼の家に向かつて歩き始めました。

しかし目の前にいる群衆が押し寄せ、遅々として進まず、ヤイロは焦り、苛立ち、不安を抱いていたと思います。

その時、突然イエスさまが足を止め、「誰が私の衣にさわつたのですか」と言われ、辺りを見回すと、女人が主の前に出て来ました。彼女は1年もの間出血の止まらない病氣に苦しみ、医者から酷い目に遭われ、全財産をはたき、様々な方法を試しても病気は悪くるばかりでしたが、イエスさまの噂を聞き、その衣にさわれば癒されると信じ、さわると病気が癒されたすべてをありのまま話しました。するとイエスさまは「娘よ。あなたの信仰があなたを救つた」と言われたのです。

それを見ていたヤイロは12歳の娘を思い、胸が張り裂けそうだったのではないでしようか。その時、ヤイロの家の人々が来て「お嬢さんは亡くなりました。もうイエスさまに来ていただくなればなりません」と伝えました。娘の死に間に合わなかつた絶望の中、イエスさまは「恐れることはない。ただ信じなさい」と言われ、ヤイロと3人の弟子たちだけを連れて、彼の家に向かいります。家に着くと王は泣いて騒いでいる人々に「なぜ泣いて騒ぐのか。子どもは死んだのではなく、

眠っているのだ」と言われます。彼らはイエスさまを嘲笑いました。主は彼らを外に出し、ヤイロと彼の妻と3人の弟子たちを連れて、娘のいる所へ行き、そして娘の手を握り「タリタ、クム少女よ、起きなさい」と言わると、娘は起き上がり歩き始めたのです。生き返つた娘を見たヤイロは、自分の焦り、苛立ち、不安は無用なことだつたと気付かされたのではないでしょ

うか。

神さま、今まで「間に合わない」ことはありません。イエスさまがヤイロの願いを聞き入れ「行きましょう」と言われた時に、娘の癒しは必ず実現されることでした。人の思いとは関係なく、御心は必ず実現されます。今日、イエスさまは一度死んだ娘にもう一度命を与え、娘の癒しを実現され、死の力を打ち破られました。この御業を通して、ヤイロはイエスさまが人の命、生と死をご支配される方と知りました。自分自身もイエスさまから命が与えられ、心臓を動かされる主を知つたヤイロは、命を委ねる信仰が与えられたと思います。その後のヤイロは自らが死にそうになる、病を患う、また年を重ね死を迎える時が近づいても、全てを委ね、焦りや苛立ちはなかつたのではないかでしょうか。

私たち一人一人に命を与え、心臓を動かされる神さまがおられます。私たちは人の生と死、命をご支配される神さまを信じるものたちです。自分の命を委ねる信仰に生きる人は、たとえ病気など不幸と思えることが起きたとしても、また死の時が近づいたとしても、神さまを信じ、焦りや苛立ち、不安からをも自由になつて生きることができるのです。

心に刻む御言葉

新しい翻訳 どうかわったのでしょう

43篇

新共同訳

生まれたばかりの乳飲み子のように、

混じりけのない靈の乳を

慕い求めなきい。

これを飲んで成長し、

救われるようになるためです。

- 五 なぜうなだれるのか、わたしの魂よ
なぜ呻くのか。
神を待ち望め。
わたしはなお、告白しよう
「御顔こそ、わたしの救い」と。
わたしの神よ。
- 五 私の魂よ
なぜ打ち沈むのか、なぜ呻くのか。
神を待ち望め。
私はなお、神をほめたたえる
「御顔こそ、わが救い」と。
わが神よ。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新改訳2017

- 五 わがたましいよ
なぜおまえはうなだれているのか。
なぜ私のうちで思い乱れているのか。
神を待ち望め。
私はなおも神をほめたたえる。
私の救い私の神を。

《今後の予定》

- 三月十二日(日) 定例役員会
- 三月十四日(火) 附属幼稚園卒園式
- 三月十九日(日) 三月総会
- 三月二六日(日) 証しと祈りの会

○第二礼拝後、三月総会準備のための教会員懇談会

を礼拝堂（リモート対応有り）で行います。

教員の方はご参加ください。

《今日のお知らせ》

○三月総会資料と役員選挙投票用紙を配布しました。

役員選挙投票は三月一九日（日）正午まで教会事務所で受け付けます。今回の選挙は郵送での投票も期日までは有効となります。

○受難節を過ぎ”しています。主のご受難を覚えつつ、この一年受けた恵みの証しをお書きになり、ご提出ください。原稿用紙二枚（八〇〇字）以内でお願いします。メールでの提出も受け付けます。アドレスは「tent@gloria-chapel.com」です。

公 告

下記により、3月教会総会を開催いたします。
現住陪餐会員はご参加下さい。

2023年3月5日

キリスト品川教会
代表役員 黄允湜キリスト品川教会
代表役員 黄允湜

記

日 時 3月19日（日）12時20分から
場 所 キリスト品川教会礼拝堂及びリモート
(zoomによる)

教会役員会は次の10名を役員候補者として
選考いたしました。

議題	1 2023年度教会全体課題案に関する件	2 2023年度教会行事予定案	3 2023年度主日および週間集会予定案	4 2023年度教会一般会計予算案	5 2023年度地域センター会計予算案	6 2023年度グローリア・チャペル	7 2023年度附属幼稚園会計予算案	8 2023年度グローリア・チャペル	施設管理会計予算案
----	-------------------------	--------------------	-------------------------	----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------

荒美俊三	上原利之
大友初枝	角屋貴良
神山宣紀	川越啓子
館山智紀	三澤茂夫
山下純一	山名弘史

議員資格 満18才以上の現住陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現住陪餐会員と不在会員、教会員でない附属幼稚教諭は、教会総会に陪席することができます。(キリスト品川教会教規 第3章第14条より)

2023年度 教会役員候補者

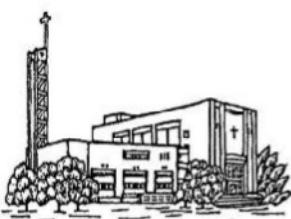
『次週の礼拝』

● 第一礼拝（午前9時30分）
讃美歌 II 5 9番 II 7 8番
説教 「日が見えるようになりたい」

2023年3月5日
キリスト品川教会
代表役員 黄允湜

● 第二礼拝（午前11時）
讃美歌 139番 251番
説教 「壊された祭壇を築き直して」
聖書 列王記上18章30～35節
説教者 黄允湜牧師
説教者 宮間彰広兄

● 第三礼拝（午前9時30分）
讃美歌 II 5 9番 II 7 8番
聖書 マルコ10章46～52節
説教者 宮間彰広兄



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 II 59番 II 78番

説教 「今日、救いが訪れた」

聖書 ルカ19章1～10節(新約P146)

司式 石川一兄

聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師

説教者 菊池美穂子副牧師

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 138番 334番

説教 「数に、熱心さに惑わされるよう」

聖書 列王記上18章25～29節(旧約P564)

司式 石川一兄

聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師

説教者 黄允湜牧師

前奏曲 「ギリアドには香油がある」 H.S.ヒングスタン

○讃美歌II 59番

- 1.すべてのもの統らすかみよ、み名をたたえ
ほめうたささぐ みめぐみゆたけく
正義みつる かみこそわれらの盾、また巖
- 2.よろこびもてささげまつる
うたあたかく みくらにとどき
ものみなどよみて こたえうたわん
「かみにぞみさかえ ときわにあれと」
- 3.わが主イエスにしたがいゆき
こころひにくく 目あてはたかく
この世にわが主の み旨のなる
その日をのぞみて われらいそしまん

アーメン

○讃美歌II 78番

- 1.イエスさまが教会を この世からえらびとり
あたらしい契約をたてられた日のように
きょうもまた主の前に 家族みな集まって
みめぐみに結ばれた この家をささげます
- 2.神さまを父とよび イエスさまを主とあがめ
み言葉の糧をうけ み教えの水をのみ
いつの日も愛し合い いつの夜も助け合う
この家のさいわいを こころから祈ります
- 3.主のみ手に守られて みなともに成長し
こどもらがこの家を 巣立ちゆくその日にも
愛の主よ、みすくいの よろこびをあかしして
かぎりなくみこころに そうものとしてください

アーメン

聖餐曲 「イエスわが喜び」 F.W.ツアハウ

後奏曲 「ヴィヴァルディによる協奏曲より」

(アレグロ)J.G.バッハ

聖餐曲 「イエスわが喜び」 F.W.ツアハウ

*礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

後奏曲 「ヴィヴァルディによる協奏曲より」

(アレグロ)J.G.バッハ